

2006年11月8日

2007 - 6

NANIWA 39号

徳島支店抗議要請行動

仲間のいるところにはいつでもかけつけるぞ。

各支店は何が起きているのかしっかり知ってもらいたい。

11月2日、大阪地協・広島地協・徳島労連のご協力をいただき、徳島支店で抗議要請行動をおこないました。ここ徳島支店は、組合員の新居さんが外勤社員として働きつづけている職場です。

西日本から9名の仲間・支部執行委員会1名・OB3名・大阪地協・広島地協・徳島労連に加盟している地元で働く多くの仲間が徳島支店前に集まりました。その中で、27年間の闘いに昨年勝利した朝日の仲間も多忙の中、休暇をとってかけつけてくれました。

まずは、主催者を代表して大阪地協書記長の西田さんが挨拶、続いて徳島県労連の見田さんから連帯のご挨拶をいただきました。

当該の日勤外勤支部からは、支部執行委員の中島さんが中央での交渉経過などを話し、いま私たちが置かれている現状について熱く語りました。金沢分会の稲葉さんも「従業員と約束できない会社がどうして顧客との約束が守れるのか」と怒りの訴えを、大阪分会の渡辺さんも「合併した時は雇用すると言っておきながら、いまさら切り捨てとはどういうことだ」と訴えました。

そして、要請団を送り出し要請書の受け取りを迫るやいなや、支店前に出てきた徳島支社長と業務GLは「ここでは判断できない。私の判断で中に入れて対応することはできない」と、他の支店となんらかわらないお粗末な対応をしてきました。会社は当初「穏便に済ませたいので、きちんと要請は受ける」という話しをしていたようですが、明らかに態度が変わってしまいました。「ここで働らくものがあるから要請しているんだ。私たちの生活や人生をどう考えているんだ」という主張に、支店は何一つ答えることができず、うなずくだけでした。**どの支店の対応をみても特徴的なのは、「支店長は留守」だということ、紙に書いたものを読み上げるように同じ言葉を発するということです。こうした対応は、本社から明確な指示が出されているとは思えません。**

その後、16時半よりJR徳島駅前ではピラ宣伝行動を行いました。予想以上に通行人が多く、保険金不払い問題を絡めたアピールを行なったこともあって、2時間足らずで用意した2000枚のピラをすべて撒ききりました。

翌日は、まだ日程は決まっていますが近々に予定している岡山支店への抗議要請行動に向けて、倉敷・岡山市内を下見して帰りました。

ひとりはおみんなのために みんなはひとりのために

全損保日勤外勤支部大阪分会